



遺跡の郷 すみよし～昨年のふるさと夏祭りから

町長 来期の生産見込量は面積が1364畝、単収4908kg、生産量66973tの見込。増産基金による補助事業については、昨年同様であるが、点滴かん水チューブの資材購入助成が追加された。ハーベスター料金見直しについては、現行の4769円から5000円に改定し、作付ルールを策定し、生産者に遵守させて行く方針。優良種苗

サトウキビの26/27年期対策について。

教育長 町内各学校や公民館等での展示会を計画し神戸沖洲会館等の島外での展示会等を検討している。整備事業については、学校関係の耐震化や体育館等の事業が一段落し、その時が来たら計画実現を目指していく。

住吉貝塚整備事業の今後の取り組みについては



山崎賢治議員

住吉貝塚整備事業は。

教育長 計画実現を目指す。



一面に広がるジャガイモ畑～ブランドの信用を上げるために生産流通体制の再構築及び販売戦略が課題

健全な購入種も地推進会議で協議され、検定済みの度、冷蔵種も対応策として、昨年度、沖永良部バレイショブランドの信用を上げる為に市場や消費者のニーズに沿った生産流通体制の再構築及び販売戦略について推進会議等において協議している。冷蔵種も対応策として、昨年度、沖永良部バレイショブランドの信用を上げる為に市場や消費者のニーズに沿った生産流通体制の再構築及び販売戦略について推進会議等において協議している。

については、国単の事業を活用し、毎年、国の種苗管理センターから優良種苗を導入している。奨励品種の普及については、県の奨励品種である5種類から、地域の要望を踏まえて努力していく。また、干ばつ対策としては、関係機関と協議し、これまでの課題や問題点を整理し、干ばつ対策本部を設置し取り組んでいく。

バレイショの振興策について。

町長 生産地としての「ブランド基準」は、かごしまブランド産地の指定を受け、農協共販で出荷されている沖永良部産バレイショのことで、本町においては4品種がある。市場において稀に「異種混入」の問題が発生しているとの情報については、JAの報告では、そのような指摘は市場や消費者から上がっていないとのことだが、今後共、県経済連や市場関係者と連携し啓発、指導により一層取り組んでいく。沖永良部ブランドの信用を上げる為に市場や消費者のニーズに沿った生産流通体制の再構築及び販売戦略について推進会議等において協議している。

大津勘字の町道補修について。

を2月に植え付け、種も専用が増殖する物については一度に限り認める方針を決定した。従って産地としての品質確保が今年度から改善されると思う。産地間のリレー出荷については、今後消費者ニーズに対応した品種生産や生産体制を確立し消費地から信頼される取り組みを行うよう努力して行くとともに、経済連等へ働きかけて行く。

町長 大津勘長浜線については経年劣化により、乳剤が剥がれるなど、路面状況が悪くなっている。路肩の除草、路面の不陸整正、乳剤舗装などを計画し車輛の安全通行を確保する。また、大津勘大山線に一部通行不能区間があるが、勾配が急で安全通行が出ない為現状のようになっている。今後の対応としては、地元の見解を参考にしながら安全通行の目的が立てば解除の為の方策を検討していく。